

● 業況判断（DI）^{*2}

前回（2023年6月）からの変化

全産業（9,053社）	10 % p	2 % p	↗
不動産業（400社）	20 % p	3 % p	↗
大企業	37 % p	5 % p	↗
中堅企業	21 % p	2 % p	↗
中小企業	13 % p	3 % p	↗

全産業（全規模）の業況判断は、前回から 2%p改善の 10%p。

不動産業（全規模）の業況判断は 20%p。また、大企業は5%p改善の 37%p、中堅企業は 2%p改善の 21%p、中小企業は 3%p改善の 13%pとなった。

● 先行き（3ヶ月後）

変化幅^{*3}

全産業（9,053社）	8 % p	△ 2 % p	↘
不動産業（400社）	14 % p	△ 6 % p	↘
大企業	28 % p	△ 9 % p	↘
中堅企業	14 % p	△ 7 % p	↘
中小企業	10 % p	△ 3 % p	↘

不動産業の3ヶ月後の業況の先行きについては、大企業、中堅企業、中小企業いずれも今期比で悪化を見込んでいる。

● 業況判断の選択肢別社数構成比

	最近			先行き		
	大企業	中堅企業	中小企業	大企業	中堅企業	中小企業
製造業（DI・%p）	9	0	-5	10	2	-2
1.良い	20%	19%	17%	17%	18%	16%
[構成比] 2.さほど良くない	69%	62%	61%	76%	66%	66%
3.悪い	11%	19%	22%	7%	16%	18%
非製造業（DI・%p）	27	19	12	21	14	8
1.良い	31%	27%	24%	25%	21%	19%
[構成比] 2.さほど良くない	65%	65%	64%	71%	72%	70%
3.悪い	4%	8%	12%	4%	7%	11%

● 土地投資（2023年度計画）

前年度比

修正率^{*4}

土地投資額 （全産業）	-13.2 %	↘	5.6 %
[2022年度計画]	[37.7 %]		

*1 回答期間は 8月29日～9月29日

*2 業況判断（DI）は、「良い」-「悪い」%ポイント。判断の分かれ目はゼロ%ポイント。

*3 先行きの変化幅は、今回調査の業況判断との対比

*4 修正率＝（今回調査の母集団推計値－前回調査の母集団推計値）÷前回調査の母集団推計値×100